

兵庫県西播磨地区は、手延素麺が有名で揖保乃糸の産地となっております。今回は夏の風物詩でもあるそうめんの電気式茹で麺機「ゆで太郎ミニ」をご紹介します。ゆで上げタイマーと自動リフトアップ機構により、ゆで過ぎ・ゆで不足を解消できます。操作はゆでカゴを押し込むだけの簡単なオペレーションです。今回は、ゆで太郎ミニを導入していたきました、「忍冬(すいかずら)」様をご紹介します。

◆導入のきっかけ

素麺は大きな鍋で茹でなければいけないためコンロを占領してしまい、他メニューの調理の邪魔になり困っていたところ、ゆで太郎ミニを知り導入しました。

◆特に気に入っている点は？

鍋に比べて安心・安全(やけどの心配がない)で、一定の温度でお湯を維持できるのでいつでもオーダーがはいってもスムーズに提供で

きます。また自動的に温度を管理してくれるので、温度を確認しなくても均一に茹で上がるところが気に入っています。

龍野商工会議所の1階に、2024年3月にオープンした忍冬様。「龍野の食」を発信したい」との思いで、できるだけ地元食材を使い、丁寧にとった出汁をベースに味付けした和定食を提供されております。龍野に来られた際は、ぜひ一度、お立ち寄りください。

今回ご紹介しました商品にご興味がありましたら、食品機器事業部 TEL(0791)62-9205まで、お気軽にお問い合わせください。

忍冬(すいかずら)

兵庫県たつの市龍野町富永702-1

龍野商工会議所 1F

TEL (0791)78-8118



若手社員に 突撃インタビュー!

2024年4月入社 前編



上段左から 渋谷、西海、大谷
下段左から 赤松、南、藤原、高本、加納、岸田

新入社員研修以来、同期が集まりました!

新入社員研修の思い出

渋谷: 私たちのときは内容がバージョンアップされていたようで、いろんな人から「そんなことしたの? 私のときはなかった!」と言われた。

藤原: 今回からレクリエーションがあった。バスケットボールのプレーの中で、お互いにどんな人か知るきっかけになった。

南: 営業同行実習も新しいプログラムだった。そのとき担当だった先輩社員が配属後も声をかけてくれる。その部署の商材の問い合わせもしやすい。部署ごとの座学も今になって良かったと思う。それぞれの社員がどんな仕事をしているのだろう? と考えるきっかけになった。

赤松: 本社のフロア見学や神岡工場の見学ではいろんな社員の方と話した。全員の方の名前と顔を覚えている訳ではないけど、仕事をしているときにそのときのことを思い出して、この内容だったら誰に問い合わせをしたらいいかなど、すぐに想像できる。

最近の仕事について

西海: デザイン経営のプロジェクトに参加している。何か具体的に機種を作っているというよりは、デザイン経営の考え方があって、その練習をしている。

加納: 私も参加していて、みんなでアイデアを出して、こんな機械を作ってみたいね、という会議をしている。

渋谷: 私は産業機械の設計をしている。経験が浅く、まだ全工程に携わったことはない。今している仕事が、初めて最初から携わった仕事だが、まだまだ始まったばかりだ。

大谷: 同じく全工程に携わったことはない。入社後に途中から参加した案件が間もなく完了する。

高本: 神岡工場で勤務しているのを見たことあるが、産業機械は丸々棟くらいの大きさのものもある。

南: この会社に入って、知らない言葉がいっぱい飛び交っている。最初、スケール(※定規)が何か分からなかった。職人さんはメジャーのこともスケールと呼ぶ。

西海: 私もその経験がある。例えば、ビス(※ネジの一種)。設計や組立で慣れている人は当たり前に使っている言葉だが、最初分からなくて先輩社員に聞いた。

ミス・失敗したこと

大谷: 連絡ミスがあり、直属の上司や他部署の方から指導を受けた。そのおかげで、以前よりも事前確認を注意深くできるようになった。

岸田: ネジを2本くらい折ってしまった。それなのに、優しい先輩が「大丈夫、大丈夫」とフォローしてくれた。



今月の表紙

今月の表紙は、「ひょうご・こうべ女性活躍推進企業(ミモザ企業)」表彰式の様子です。当社はこのたび、兵庫県と神戸市が共同で創設された、女性の活躍や多様な働き方を積極的に推進する企業を認定するミモザ企業に認定されました。今後もさらに多様な働き方を支援し、すべての従業員が活躍できる企業を目指してまいります。



to

2025 05 vol.591

- 二つの大阪万博の間になされてきたこと
- 好評開催中! 得選品フェア2025春(インテリア)
- 量店経営オンラインセミナー「勝ち残り発展する量店のなすべこと」開催(量)

- 導入事例 嶋田量店様
- 電気式茹で麺機「ゆで太郎ミニ」のご紹介(食品機器)
- 若手社員突撃インタビュー



環境にやさしい
植物油インキを
使用しています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を使用しています。

心
げん言

しん

二つの大阪万博の間に
なされてきたこと



◀左：万博会場の大屋根
右：糊付機の対比
上：我が国初の自動壁紙糊付機（1971年）
下：最新の自動壁紙糊付機（2024年）

代表取締役社長
頃安 雅樹

龍野商工会議所会頭のお役目として、4月6日、大阪・関西万博「テストラン」に出かけてきた。慣れぬネット予約(来場後の当日登録)を多少しくじって、わずかのブースしか見学できなかったが、自分なりに少しはその雰囲気把握できたと思う。なおその際、どうしても55年前の大阪万博と対比しないではいられなかった。

55年前の1970年、中学2年の好奇心旺盛な私は、当時神戸在住であったことをいいことに5～6回は万博会場に通ったものだった。大行列の人気館は避けて（今も行列は嫌いだが）、国内館や数多くの海外館を回ってスタンプや館員のサインを集めた記憶がある。

さて今回、「大阪ヘルスケアパビリオン」で「ミライ人間洗濯

機」を見学した。（時間の都合で実演は見られなかった。）すでに話題になっている通り、1970年の大阪万博でもサンヨー館で「ウルトラソニックバス」（通称：人間洗濯機）が出展され、モデルによる実演と相まって当時ずいぶん話題になったと記憶している。

会場でこの製品を見ていて思ったのだが、当社自動壁紙糊付機は、大阪万博とほぼ同時期の1971年に日本で初めて、実質的には世界で初めて発売され、以来工夫と改良を重ねて現在に至っており、現在も当社インテリア部門を支える主力商品であり続けている。

最新機を初号機と比較すると、重量、糊付スピード、操作性、デザイン等ではるかに進化しており、職人の高齢化・人手

不足が深刻になる昨今、女性・高齢者などでも楽に操作できるような配慮がなされている。

その意味で、会場で2025年版「人間洗濯機」を1970年版と比較するときの気持ちは、当社糊付機の最新機と1971年版初号機を比較するのと同じ気持ちであった。

今回55年の時を経て、当時の製品と比較されることを承知の上で、その間の進化を世に問うべく、あえて同じ名称（＝目的）の製品を出展した企業の意気込みが伝わってきた感じがしたし、当社もまた同じ使命を果たすべきであることを、改めて教えてもらったような気がした。

ひょっとしたら本件が、今回の見学で最大の収穫であったかもしれない。正式開幕後、ぜひ再訪したいものである。

インテリア事業部
商品紹介

5月末まで！ 好評開催中！ 得選品フェア2025春

インテリア事業部
主任 山家 裕介

現在開催中の『得選品フェア2025春』から注目のおすすめ商品をご紹介します。

【簡易巻き取り装置】

自動壁紙糊付機で糊付けした後の壁紙に専用の乾燥防止フィルムを貼り付け、巻き取る装置です。

フィルムを貼り合わせることで、オープンタイムが必要な壁紙の乾燥防止、塗布された糊のくし目をならす効果があります。

さらにハニーボックスで立体養生することで折りジワの予防ができ、また保管・運搬が容易になります。

詳細が分かる
動画は
こちらから



ハニーボックス使用例▶



簡易巻き取り装置は2種類あり、お使いの機種に応じたものをご使用ください。

【No.11-1790】

- ・Hiβ-NEO
- ・Hiβ-Premio
- ・プライム系

【No.11-1791】

- ・ATHLEAD ALEX系、X
- ・Hiβ-UNI
- ・マスター系

【乾燥防止フィルム】

簡易巻き取り装置用のフィルムです。現場への搬入を配慮した、持ち運びしやすいサイズ・質量になっています。素材・厚み等の違いで2種類ご用意しました。

【No.11-1794】

- 約1,035mm×300m
- 厚み:0.01mm
- 色 :オレンジ
- 素材:ポリエチレン

【No.11-1795】

- 約1,040mm×360m
- 厚み:0.02mm
- 色 :無色透明
- 素材:ポリプロピレン



◀取付使用例

11-1794
乾燥防止フィルム PE

現在開催中の
得選品フェアチラシ
こちらから



畳事業部
セミナー

畳店経営オンラインセミナー 「勝ち残り発展する畳店のなすべこと」開催

畳事業部
主任 小池 靖子

ZoomとYouTubeを使用して、全国オンライン「勝ち残り発展する畳店経営セミナー」を開催いたします。

繁盛畳店さんが実行されている内容をご紹介します。参加費は無料ですので、ぜひご参加くださいます様よろしく願いたします。

〈開催案内〉

第25回
2025年5月8日(木) 18:00～19:30
1人で売上4,000万円する方法

講師：吉田畳店（福島県岩瀬郡）
代表 吉田 良作様

【内容】

2000年にコンピュータ式畳製造ロボットを導入され構造改革を実施。時代の最先端を行くマーケティング手法を学ばれ、「地域一番店」になるまでのさまざまな手法をお話しいただけます。

第26回
2025年5月22日(木) 18:00～19:30
夫婦で力を合わせて地域一番店を目指しています！
講師：岩瀬畳ふすま店（茨城県土浦市）
代表 岩瀬 健一様

【内容】

2005年に大学を卒業した後、畳店を手伝うことになり、「構造改革」に挑戦し、初年度に1,400万円の売上増を達成しました。2017年には代表に就任し、見積もりから畳の製造、ふすま張りまで幅広い業務を奥様と一緒にこなっています。積極的な販促活動や地元の皆様に愛される店舗作りなどについてお話しいただけます。

「はんじょうくんブログ」にはセミナーの詳細が掲載されていますので、お申し込みが可能です。ぜひご確認ください。



お申込
右記二次元コード
から、お申込みの
方よろしく願い
いたします。



申込フォーム

第25回 2025年5月8日(木)



1人で売上4,000万円
する方法
吉田畳店
代表 吉田 良作様

第26回 2025年5月22日(木)



夫婦で力を合わせて
地域一番店を
目指しています！
岩瀬畳ふすま店
代表 岩瀬 健一様

最新鋭のスーパーミニラインで 地域密着型畳店

茨城県笠間市
嶋田畳店
代表 嶋田 和也様

会社様紹介

初代から笠間市で畳店を営み、今年で創業100年を迎え私で3代目となります。笠間市人口約70,000人を商圈として、畳以外の襖、障子、網戸等も手掛け、夫婦2人で営業活動し地域に根ざした畳店です。

機械導入のきっかけ

以前から、両用ロボットには興味があり、動画や畳展示会等でよく見ていました。とくに、畳店さんのYouTube動画を毎日30分以上見ていたので、私の再生回数が一番多いと自負しています(笑)。

両用ロボットの魅力に惹かれ、いずれは導入したいと考えていたところ、営業担当の方から補助金の話を聞き申請し無事に採択され、2022年8月に「両用ロボット VICTORY」「マルチロボット KTⅡ」「畳美人2」を導入しました。

気に入って頂いた点

機械を使っている方から寸法精度は良いと聞いており、私は半信半疑で最初は不安でしたが、実際に機械を使うと、本当に寸法精度は良く、間違いのないのでとても驚いています。

当店は、いろんな種類の畳を作っていますが、置き畳で裁断角度0度ができるので便利です。へりなし畳も多く、特に一畳の製作も簡単に畳床裁断が楽にでき、大変助かっています。

機械導入後の感想

今までは、妻と2人でしていた仕事が、マルチロボッ



導入製品の紹介

表張・框縫付自動片框裁断機
マルチロボット
KTⅡ

品番：E1-4080
価格：オープン



ト、両用ロボット導入により2台を1人でできるようになったので、空いた時間に妻が子育てをしたり、ポスティング等に専念できるようになりました。

また、作業効率が良くなり、畳の仕上がり時間も読めるようになったので、仕事のスケジュールも立てやすくなりました。

仕事はもともと好きですが、この機械を導入して、よりいっそう楽しく好きになりました。機械色のバイオレットカラーも好きで、とても気に入っております。

今後の予定

息子に4代目を継がせられるよう、安定した仕事内容の基盤作りをしていき、安心して経営ができるお店作りを目指していきたいと思っています。

このたびは、お忙しい中取材にご協力していただき、誠にありがとうございました。



畳事業部 担当課長代理 三宅 良祐